

平成29年度
入試問題大学
公募制推薦入試
小論文大学
公募制推薦入試
教養(国語)大学
公募制推薦入試
教養(英語)大学
自己推薦入試
小論文大学
一般入試
(国語)大学
一般入試
(英語)大学
一般入試
(数学)短大
公募制推薦入試
小論文短大
公募制推薦入試
教養(国語)短大
一般入試
(国語)

記入上の注意

記入例

びわこ学院大学短期大学部 平成二十九年 一般入学試験(国語)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

《痛み》は、人の存在が(一)損なわれつつあるとき、その危機の徴候もしくは信号としてその人自身に感受されるものである。人の身体に、あるいは人の心に、なにかたまたまぬ事象が発生しているとき、人は《痛み》に襲われる。《痛み》については、それが発生するメカニズムについて、さまざまな分析がなされていることおもう。神経医学・生理学を中心に。

(二)でわたしが考えてみたいのは、《痛み》という(二)ゲンシヨウ別が人にとっても、意味についてである。

(あ)《痛み》は、大きく分けて二つのかたちでわたしたちを襲う。すきすき(三)疼くというかたちで、そしてぎりぎり刺すというかたちで。いつてみれば、「疼き」と「激痛」である。

身体的なものであれ心的なものであれ、過去に受けた深い傷や痛手は、いつまでも消え去つてくれない。傷や痛手は過去のある時に受けたものであっても、なかなか過去になつてくれない。それは、いくつ時間を経ても、ふとしたはずみに首をもたげ、よみがえつてくる。たとえば何かの(四)ジヨウケイを眼にしたとき、あるメロディにふれたとき、あるいははよつとした湿度や気圧の変化をきっかけに、それはいつまでも過去のものとなつてくれず、現在を蝕む影^{カゲ}として、いつもしまこに居すわつている。いつてみればそれは、過去になつてくれない過去、人がいつまでも引きずる過去である。

〔あ〕(一)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(二)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(三)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(四)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(五)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(六)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(七)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

〔あ〕(八)「疼き」と向き合うなかで、(わ)

たし」というのが(五)クイセイされる。

これら対して、「激痛」は、そもそもそういう向き合いそのものを不可能にする。「激痛」は、(ハ)人を時間の一点、空間の一点に閉じ込めるからである。痛む人の意識はその痛みの瞬間に貼りつけられて、そこから(六)リソツすることができない。痛むこの「いま」からその先へ、あるいは前へと想いを漂わせることができない。いいかえると、烈しい痛みのなかで、人は過去の想い出に浸ることはできないし、遠い未来に、いや近い未来にさえ、想いをはせることができない。時が、いつてみれば「庭」を失つて、「点」になる。苦痛のなかで、人は「いま」に閉じ込められるのだ。

《激痛》はおなじように、人を(二)へ閉じ込めもする。身体が、痛むその一点へ内向して、もはやまわりの世界へとのびやかに開けない、他人の言葉を懐深く迎え入れたり、他人の心境に遠く想いをはせる余裕もなくなる。

《激痛》の緩和ということが人に必要なもの、危機の徴候であるはずの《痛み》が高じて、こんどは人の存在そのものを崩壊させかねないところまで来ているからだ、とさしあたっては言える。が、さらにこれがなぜかという、わたしは、「激痛」が人を「いま」(二)という一点に閉じ込めるという点にあるようにおもう。

(一) (B) (と) (C) に「が」貼りつけられる、閉じ込められるというのは、たとえば過ぎし日の想い出に浸ること、過去のじぶんの行為を(一)悔^{カエ}むことすらできなくなるということである。あるいは、将来の夢を見ること、何かの希望を抱くこと、何かに折ることが不可能ななどというところである。つまり、何かをおもいう、人としてのいばん基^キ本^ホ的な^テな^ニな^リと^シて^テ、何かが決定的に(八)倒^タされる^{コト}である。激痛が人を襲うとき、「苦痛があらゆる場所を占め、人はもはや(わたし)ではなくなっている。存在するは苦痛のみである」。そのフランスの精神科医、D・アンジュ^{ド・アンジュ}は書いている。人は激痛のなかで《痛み》そのものになつてしまひ、じぶん^{自分}というもの、世界というものに距離がとれなくなる。人の存在がうんと奥まり、縮こまって、個人が人として(九)ソリソツしてしまふ。だれも代わりに痛んでくれるわけがなく、人はただひたすらそれを独りで耐えぬくしかない。

D (一) 西洋の古人はシンパシーというものを道徳や社会感情の基本として重く見たとおもわれる。シンパシーの原意は「苦しみ(パトス)をともにする」ということである。苦しみというのはその人が感じ、耐えるしかないもので、他のだれにも代わつてもらえないものであるからこそ、想像力を強く喚起しないとそれに届かないものだ。そういうば、味もまた、目の前にひろがる光景や、あたりを包む音、あたりに漂^{ヒル}る香りとかか違つて他人と共有ににくいもので、毎日おなじような(10)頑^ツ固^クであつてもつくる人は食べる人^{食べる人}にそのたび「おいしい。」と尋ねる。つい、いま他人がどう感じているかを訊きたくなるのだ。だからだろ、人類は「一緒に食事をする習慣」というのを大切にしてきた。他人に想いをはせる訓練^しとして。

《痛み》は人を決定的に孤立させるものであるということ、その意味で、《痛み》は痛いものである。痛みそのものによつて、では

ない。それが人を孤立させるからだ。痛みについて語るとき、(2)の息だけはよく心にとめておかねばならないようにおも

う。
（鶴田清 『おとなの背中』 角川学芸出版）

問一 傍線部(1)～(10)のカタカナは漢字に直し、漢字はひらがなに直しなさい。

- (1) 損なわれ (2) ゲンショウ (3) 疼く (4) ジョウウケイ (5) ケイセイ
(6) リダツ (7) 悔いる (8) 侵される (9) コリツ (10) 献立

問二 A D に入れるともふさわしい言葉を語群の中から(1)を選び、記号で答えなさい

- A イ、さらに ロ、そして ハ、なぜなら ニ、ところが
D イ、そして ロ、さて ハ、ところが ニ、だからこそ

問三 (B)と(C)に入る言葉を文中から抜き出し書きなさい。

問四 傍線部(あ)「痛さは、大きく分けて二つのかたちでわたしたちを襲う」とありますが作者は、なぜ、「痛みを「疼き（疼く）」と「激痛（きりぎりし刺す）」に分けるのか、その理由として最適なものを選び、記号で答えなさい。

- イ、「疼き」と「激痛」の神経・生理学が異なるから。
ロ、「疼き」と「激痛」の痛さの程度が異なるから。
ハ、「疼き」と「激痛」の精神的な意味が異なるから。
ニ、「疼き」と「激痛」の発生する原因が異なるから。

問五 傍線部(い)「人を時間の一点、空間の一点に閉じ込める」とありますが、「人を時間の一点に閉じ込める」と同様の意味を表現している部分。そして、「人を空間の一点に閉じ込める」と同様の意味を表現している部分を、それぞれ五〇字程度で抜き出して書きなさい。

問六 傍線部(う)について、作者は、西洋の古人は、なぜ、「シンパシー」というものを道徳や社会感情の基本として重く見たと考えたのか、文中の言葉を使って一〇〇字程度で説明しなさい。

問七 傍線部(え)「いの点」について、文中の表現を用いて、二十字～二十五字で書きなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

春樹と長知子のすれがいが、描いて敗戦後の日本をわかせたNHKラジオ劇「君の名は」。題名の(1)「ユライ」には諸説ある。一説には、当時放送界を統制していた占領軍幹部の早とちりという。

「次作の題名を」。内容も決まっていたい段階で、一方的に迫る幹部に、NHKの(2)「折衝」役がなぜか「君の名は」とつぶやく。幹部は作品名を思い込み「いい題名だ」と(3)「即決」する。後に聞かされた脚本家菊田一夫も半ばあきれる決まり方だったらしい。

（「悲劇喜劇」1980年3月号）

新作アニメ「君の名は」を映画館で見た。主人公は三葉という女子高校生と男子高校生の瀧。互いの心が入れ替わるうち、思いを寄せ合う。

新海誠監督の頭には当初「夢と知りせば」という題があった。夢と現実の織りなす物語だから、夢を詠んだ和歌から引いた。息ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを。あの方を思いつつ眠ったから、夢に出てきたのか。 A 目

を覚まさなかったのに。
古今和歌集にある小野小町の名歌である。検討の末「君の名は」に落ち着いたもの、やはり先行の「君の名は」が有名ゆえにめらいもあつたそうだ。

（君の名は真知子と答え瀧がバレ）と先日の朝日(4)川柳にある。筆者もシヨール窓の真知子がすぐ浮かぶ世代だ。いま劇場に駆け込む10代、20代はまず真知子を知るまい。数十年後もきっと、「瀧くん」と呼びかける三葉の声を思い浮かべるのだろう。君の名や昭和は遠くなりけり。

（朝日新聞 『天声人語』 2016年10月6日付）

問一 傍線部(1)～(4)のカタカナは漢字に直し、漢字はひらがなに直しなさい。

- (1) ユライ (2) 折衝 (3) 即決 (4) 川柳

問二 A に入れるのに最もふさわしい表現を次の中から選び、記号で答えなさい。

- イ、夢だったので
ロ、夢にも思わなかったが
ハ、夢と知っていたら
ニ、夢とはわからなかったのだ